

UNIDO 事業「生理用ショーツ縫製工員研修」修了式への参加

2025 年 4 月 4 日（金）、セラム子どもの村（アディスアベバ市内）にて、日本が支援してきたプロジェクト「生理用ショーツ縫製工員研修」修了式が開催されました。

このプロジェクトは、日本政府による拠出により UNIDO 東京投資・技術移転促進事務所が実施する「日本からの技術移転を通じたアフリカ及びアジアにおける産業職業訓練プログラム」の一環として、伊藤忠商事、Be-A ジャパン及びサレム子どもの村が共同で日本の縫製技術をエチオピアに移転し、広くエチオピア国内で普及させることを目的としています。

本式典において、日本大使館の根津俊太郎次席は、2022 年にチュニジアで開催された TICAD8 において、岸田首相（当時）がアフリカの 30 万人の人材育成を発表したことに触れ、今回伊藤忠商事及び Be-A ジャパンの協力により移転された生理用ショーツ縫製技術が、女性の生活の質及び社会進出機会を向上させるのみならず、女子生徒が学校で快適に学習を続けられるようになる、とメッセージを送りました。また、縫製技術を習得した 114 人の訓練生に対して修了証書が授与されました。



関係者にメッセージを送る根津次席



修了証書授与



研修を終え技術を身につけた訓練生とプロジェクト関係者の皆様